

交換留学レポート

留学先国・地域	フィンランド	留学先大学名	ユバスキュラ大学
高知大学での所属	教育学部学校教員養成課程 英語教育コース	留学先での所属	教育学部
留学期間	2018/8/26	～	2018/12/31

学習に関すること

大学は、ほぼ英語の授業で、学生も英語を勉強しにきている人多いし、話せる人でほとんどです。特に自分が行った時期がヨーロッパ人がとても多い時期だったのでより綺麗な英語が聞くことができました。

大学での授業は、5つとりました。ユバスキュラ大学は、学部関係なくだいたいどの授業も履修したいと思えば履修することができます。フィンランドの教育を学ぶ授業は、レクチャー式でした〔おそらく人数がかなり多いため〕。自分がとっていた英語の授業は、group discussion,debate,presentation,pair work など講義式よりアクティブな感じがとてもおおくて、とてもよかったです。この英語の授業のときに、やはり英語を学びたい日本人がおおかったので、授業の6割は日本人がだったので、何かわからなければすぐ日本人に聞ける環境だったけれど、私はあえて中国人の子たちといつも隣に座って少しでも英語を話せるように、聞き取れるようになるうと思ひ日本人の友達とは、一緒には、受けなかつたです。英語の授業は、ついて間も無い時期だったので、あたしの英語力はかなり低かつたのですが、中国人の友達が必死にあたしにわかるようにゆっくりゆつてくれたり、携帯などを使って説明してくれたおかげで、授業の成績は、悪かつたけれどそれより自分の自信と英語力向上に一番役に立つたと思ひます。ほんとうに中国人の友達には、感謝しきれません。留学中には、何回か遊んだり誕生日パーティーなどもしました。フィンランドにくるまでは、英語力がほぼなかつた私でしたが、帰国するまでには、自分の意見がある程度理解してもらえるようになったり、相手の言っていることが理解できるようになったりと、自分でも少しずつですが英語力の実感を感じ取ることができました。周りの日本人と比べたり、自分の英語力に嫌になつた時もありましたが、全てルームメイトや友達などが励ましの言葉をくれたり、遊びにさそつてくれたり、たくさん救われました。ルームメイトには、間違つていても気にならないし、もっと気軽に話しかけてみたらどう？と提案してもらつたり、たくさんのアドバイスをもらったおかげで、いまの自分があるんだと思ひました。日本の考え方と海外の考え方が大きく違ふことにも気づかされ、日本のネガティブなことばかり捉えていたのですが海外の人からすれば日本人は素晴らしい、頭がいいといつても日本は褒められることの方が多かつたです。それなのに私たちは、いつても日本の教育が悪いとか政治など全て悪い風に捉えがちですが、これは一種の日本の良い所とも考えていいのではないかと思ひえるようになりました。自分が過ごしてきた人生や大学生活などあるゆるところから見つめ直すこともでき、何が自分にいま大切でなければいけないことは何

交換留学レポート

かということに気づけたのもこの留学のおかげだと思います。

生活に関すること

フィンランドは、オーロラが見えます！笑 雪も降ったり、自然がたくさんあったり北欧らしさが味わえます。サウナや湖にもたくさん触れ合うことができます。ホームレスは、いなくて本当に治安がとってもいいです。フィンランド人は、シャイで謙虚なので日本人にとっても性格などにているので、接しやすく心地よいです。フィンランドのユバスキュラでは、ほぼ英語が通じて 60 歳以内の人は老若男女問わず三ヶ国語が話せるので、とても意思疎通などしやすかった。お店の看板などバスの名前などは全てフィンランド語でかかっているのがほとんどなので、全て Google 翻訳を使って友達などと情報交換しながら商品を買っていました。やはり物価が高い国なので、外食にはほぼ行かず自炊するのが主にメインで友達に日本料理寿司などを振舞ったり他の国の友達の料理を食べらせてもらったり、パーティー感覚で自炊をしたり持ち寄ったりしていました。外食の料理の量も日本人からしたらかなり多いので、持って帰ることももちろんできるんですが、2人で1つの料理を頼んで節約していました。お金も節約になりますし、やはりカロリーも高いので日本人ならシェアがとてもおすすめです。続いて寮の話を書きます。ルームメイトの子と私は2人でルームシェアをしていました。他の友達も、4人だったり3人だったり、人数もバラバラで部屋の大きさや家具などもバラバラでした。それに従って家賃なども変わるので、意外と勝手に大学側からルームメイトなども決められるので、まさかの日本人どおしだったりあまり気にしていないんだなあと思いました。ルームメイトの子は Nederland 出身の子でとても英語も流暢ですが、その子も英語が第二言語なので会話していたまにわからない言葉やどう伝えたらいいのかわからないときは、いつもジェスチャーや携帯で調べて意思疎通していました。その子はとても優しく、ユーモアがあって必ず忙しい時でも挨拶やおやすみだけでもお互い一日一回は、顔をなるべく合わせたりしていて、とてもいいコミュニケーションが取れていたと思います。その子はベジタリアンだったので、あたしと一緒にご飯を作って食べることはあまりできなかったけど、お菓子を交換したり、ベジタリアンでも食べれる寿司だったり、料理を食べさせてあげたりしていました。2人で過ごすほんとうにまるで日本の友達と話すような、恋愛話だったり、日常の話、趣味の話など様々なことを時間があるときは、2時間以上話したりしていました。お互い共通して音楽がとても好きだったので、毎日音楽をかけながらお風呂や料理を作っていました。今でもその子が教えてくれた音楽を聞いたりして、フィンランドでのことを思い出したりします。今でもあけましておめでとの連絡だったり、成人式のことなどで連絡をくれたり、自分も SNS などを使ってやり取りなどもしています。たくさんの外国の友達もできて、ほんとうに充実した留学生活を送ることができました。